

注文殺到で県人会ビックリ!

高知

販売総数はなんと約600食 先陣切つてイベントに挑戦

「まさかこんなに事前注文がくるとは予想していませんでした。この災害の中で、協力していただいた方には本当に感謝しかありません」——高知県人会の片山アルナルド会長(二世、75歳)は顔をほころばせた。外出自粛令が発令されてから4カ月が経った今も、県人会の大半はイベント活動を自粛している。その中、高知県人会は先陣を切つて7月25日「ドライブスルーフェイジョア祭り」を行った。



片山アルナルド会長

同祭は事前注文制で、フェイジョア、焼きそば、揚げ魚弁当の3種類を販売した。予約注文は当日正午締め切りだったが、予想よりも遥かに注文が多かったため、「泣く泣く当日の注文を断らざるをえなかった」という。同祭は前々日の23日

から仕込みを行い、当日は約200人程の県人会スタッフが集まり、コロナ対策を遵守しながら調理と販売を行った。

片山会長は、「SNSや新聞などの宣伝、また知人への口コミなど、各方面で告知をしていただいたおかげで、イベント前にイベント後に販売数を集計した結果、フェイジョアは約270人前、焼きそばは180人前、揚げ魚弁当は130人前を販売することができました。今年はコロナの影響で例

年のような日本祭りなどのイベントができず、県人会にかかる経費をどう賄おうかと考えていた。ご協力いただいた方々に心から感謝しています」とのこと。



イベント当日の様子

美食やゼカ・カマルゴ講演 ジャパンハウスオンライン

サンパウロ市のジャパンハウス(JH、エリック・アレキサンダー・タルググ館長)がオンライン上で様々な視点から日本文化を紹介する企画「ジャパンハウス」の8月7日までの日程が発表された。

食文化では7月28日からYouTube上で公開されている「和菓子」のビデオには、ウイラ・マリ・アナナのNanaYaオーナー、クリスチアーネ・ハルヤマ・サンペイ(藍染、白石テルマ・シ

リリス・干し柿のレシピ)が和菓子を紹介。また、美食シリーズでは干し柿や焼酎コーヒのレシピを紹介する。

▼7月27日(月)和菓子▼29日(水)美食シリーズ・干し柿のレシピ(藍染、白石テルマ・シリリス)

▼7月30日(木)午後7時から第10回読書クラブ・岡倉覚三「茶の本」一冊の本を通じゲストの専門家とともに議論を行う。参加には事前申し込みが必要。(https://forms.gle/XbdeE3cdqory7mw5)

また、書籍の割引もある。詳細は(https://www.japanhouse.jp/saopaulo/event/clubedolivrio/)をテーマにスーム会議上で開催する。(https://bit.ly/ConversionLine)

▼6日(木)午後7時「JHSP座談」ゲストのジャーナリストのゼカ・カマルゴが2010年にブラジル日本移民百年取材のため訪れた日本での1カ月を語る。企画はインスタグラムで中継される(@japanhouse)

その講演に感動した浅海さんは、仲間と国鉄・津駅まで見送りに行った。海さんは思い切つて「ブラジルに行きたいので呼び寄せてくれませんか」と懇願すると、「二つ返事で快諾してくれた」と昨日のことのように思い出している。

同仁会や日本病院の医師として多忙な生活を送る傍ら、日系青少年の育成にも心を注ぎ、1953年にはカラメル・ポリスカウト隊を設立し、ブラジル最大級の同僚組織に育て上げるなど、貢献があった人物だ(つづく、深沢正雪記者)

日本移民と感染症との戦い 世界最大の日本人無医村で

(17)

前節のバスターズ移住地の防疫対策を担った同仁会の細江静男医師は、1901年に岐阜県下呂町和佐生まれ、慶応大学医学部で学んだエリートだった。細江医師の慶応大学同期には、のちに日本医師会会長になった武見太郎氏がいた。首相クラスの要人の主治医として知られる人物だ。大学時代の恩師が、第8回で紹介した宮嶋幹之助教授だった。ブラ

ジル移民組合の要請により、1918年から7カ月間、北里研究所の寄生医学の権威・宮嶋幹之助として、日系社会を調査・衛生指導したあの人物だ。現地では日本人が南米特有の感染症で苦しんでいることを熟知していた宮嶋は、若き医学生だった細江氏に「ブラジルの日本人入植地は、医師のいない世界最大の集落だ。必ず3年で帰って来るだ

ろうと思つたらしい。私もこの時は一生いるつもりはなかったのだが、(細江静男先生とその遺業) (刊行委員会 浅海護也 編、1995年、139ページ)以後「偉業」とある。

日本人集団地を良く知っていたからこそ、細江のような逸材を送り込んでくれたのだろう。野口英世は有名だけに何か

と取り上げられることは多いが、日系医療への貢献という意味では宮嶋の方がはるかに際立っている。細江は当時から、まさに「同仁」(わけへだてせず)に、多くの者を平等に愛することの精神にあふれた若者だった。

学齢期になった娘2人を養母の元に残したの辛さ(「PDF版279ページ」)が、1カ月ほど積放された。日本に残した長女は、大戦中に亡くなり、二度と会えなかった。モジ在住の浅海さん(81歳、愛媛県出身)

「遺業」によれば、1944年8月頃、細江医師はすでに医師免許を取つて正規診療をしていたにも関わらず、一時警察に拘束されたこともあった。当時の日本語を話したと言ふ理由で引っぱられた人々と大差なく、多分、日本人の出入りが診療所に多かったことが影響したのかもしれない。(「PDF版279ページ」)

だが、バスターズ移住地赴任中に永住を決定し、ブラジルの医師免許をとりなすためにサンパウロ州立大学医学部に入学して苦学し、30年を過ごし

ウロは最初の一年ぐらいつもりで来て、コチアにあつたポリスカウト訓練場の管理人をやつたが、エバチツチ(肺炎)に罹つてしまい、先生の自宅のポロ(地下室)に3カ月世話をなつて病気を治した。その際、先生から「もうアマゾンにはかないほうが、アマゾンに楽しんでください。購入していただいた方にも、調理や配達を協力していただいた方にも本当に感謝しています」と笑顔で浮かべ、充実した表情で額の汗をぬぐつた。

良い。サンパウロでがんばれ」と言われ、気持ちを切り替えました」と振り返つた。細江医師の人柄が伝わってくるエピソードだ。

NanaYaのクリスチアーネ・ハルヤマ・サンペイさんは、2018年にJICA奨学金を得て、和菓子の本場である日本短期留学もしている。浜松の老舗和菓子店「京都の老舗」とりや、箱根など様々な地域の和菓子店を訪れ見識を広げた。ななやではシュクリームなどの洋菓子も販売している。

「世界一の無医村に行かないか?」

細江医師との関係を電話で尋ねると、「彼の呼ぶ寄せてブラジルに来た86人の一人です。細江先生はその一人一人の健康相談から結婚の世話な

ども焼いてくれた。無私の世界の人で、本人は医者とは思えないような貧乏な生活をしていて、ま

たが、親分肌の人柄から「細江道安」と呼ばれていました」と懐かしそうに振り返つた。

三重大学農学部在学中、移住問題研究会に入つてブラジル移住に興味があつた浅海さんは、1962年にたまたま細江医師の学内で講演会を開いた際に聞きに行った。細江医師は医学功労賞を受賞するために、妻と共に来日していた。

当時、アマゾン巡回診療などを頻りに行つてた細江医師は「アマゾン先生」の異名でも知られ、日本での体験談を本として出版しており、その体験談を講演した。

「JHSP座談」ゲストのジャーナリストのゼカ・カマルゴが2010年にブラジル日本移民百年取材のため訪れた日本での1カ月を語る。企画はインスタグラムで中継される(@japanhouse)

その講演に感動した浅海さんは、仲間と国鉄・津駅まで見送りに行った。海さんは思い切つて「ブラジルに行きたいので呼び寄せてくれませんか」と懇願すると、「二つ返事で快諾してくれた」と昨日のことのように思い出している。

同仁会や日本病院の医師として多忙な生活を送る傍ら、日系青少年の育成にも心を注ぎ、1953年にはカラメル・ポリスカウト隊を設立し、ブラジル最大級の同僚組織に育て上げるなど、貢献があった人物だ(つづく、深沢正雪記者)

「ところで教会の話ですけど、いったいこれは、どういう教会なのですか。町にあるキリスト教の普通のカトリックの教会とは大分違うと思いますか?」

「そうですね、その話を今日はするはずだったわね。話が横道に逸れてしまつて、ごめんなさい。でも、最初にこういうことをしていますから、悪く思わないでね。そうね、あの教会の話は、どこから始めていいかわからないものかちよつと迷うけど、まず、その背景から説明しましょうか。詳しく話すところは、本当に時間がかかるし、マルコスにも簡単に分かつてもらえないと思うから、大ざっぱに話すわね。あの教会は、名前をクリスト・レイといって、この近辺に住む、日本から移民としてやって来た日本人たちによって建てられたの。もう二十年以上前の話ね。生活にもまったく余裕のない人たちがばかりだったから、あれを最初建てるには、随分大変だったみたいだね。木造立ての、今から見るとけつて立派とはいえない教会だね。でも、あそこからは、最初ここに入つた人たちの開拓精神のようなものが刻まれていた感じがするわ」

「僕は、あの今までの教会にはどこも素朴で、そして純粋な雰囲気というのを感じました。最初見たとき、あれはまだ完成していない教会だとも思いました。外側の仕上がりはまだできていないのだと、僕は考えました」

「うね、私も詳しくは分らないけど、あれが、あの時代の人たちに来てきた限度だったのじゃないかしら。あり合わせの材料で、とにかく自分たちの教会を造ろうという意気込みで支えられて完成したという感じね」

「僕が最初あの教会を見て感じたのは、その建物の形式が個人的なことだつたということですね。あのような形の教会は、今まで見たことはありませんでした。あれは、日本から持ち込まれたものなんですか」

「そうですね、あの教会の形は、日本から持ってきたもので、だから、ああいうスタイルのものはブラジルには、他にないでしょうね。でも、元々はキリスト教という同じ宗教のものだから、基本的にそんなに違いがあるというものでもないわ。今、建設中の新しいクリスト・レイ教会も、その元になるころは、ちゃんとローマ・カトリック教会に繋がっていますから、日本から持ってきた形についても、キリスト教であることに変わりはありません」

「そうですね、そこに僕も最初疑問を持ったのですが、この地区にやって来た日本人の人たちが、みんなキリスト教の信者だということも不思議に思えます。まあ、僕はあまり他の宗教のことは詳しくないですが、それでも日本とか中国などの東洋の国々では、仏教が大半であるということぐらいは、一応知識として持っています」

「だから、ここに住む日本人の人たちがすべて、仏教信者だといわれても、僕は別に不思議とも思いません。しかし、この場合はそうではなくすべてがキリスト教信者です。これは何といふようなことなのだと考えてしまいます」

「アヤもそうでしょうけど、このブラジルへ来たからキリスト教の信者になつたのではなく、日本にいるときからもう、キリスト教信者だつたわけでしょう」

「そうですね、ここに僕も最初疑問を持ったのですが、この地区にやって来た日本人の人たちが、みんなキリスト教の信者だということも不思議に思えます。まあ、僕はあまり他の宗教のことは詳しくないですが、それでも日本とか中国などの東洋の国々では、仏教が大半であるということぐらいは、一応知識として持っています」

「だから、ここに住む日本人の人たちがすべて、仏教信者だといわれても、僕は別に不思議とも思いません。しかし、この場合はそうではなくすべてがキリスト教信者です。これは何といふようなことなのだと考えてしまいます」

「アヤもそうでしょうけど、このブラジルへ来たからキリスト教の信

FGV GDPギャップ約15%減か

2Qでは過去38年で最悪の数字 低い投資信頼の上にパンデミック

ゼッリオ・バルガス財団 (FGV) は、2020年第2四半期の実質GDPと潜在GDPの差 (GDPギャップ) が、過去38年で最悪になると予想している。

リセッションの完全回復を前に

クラウジオ・コンシニラ氏
「2014年から始まったリセッションから完全に回復していない状況で、パンデミックに見舞われた。パンデミックは、すでに活力の弱い状況にかぶさってきた」と指摘した。



FGVの研究によると、このGDPギャップは14.1%減となり、1982年に同財団がGDPギャップの調査を開始して以降で最大の振れ幅が最大だといふ。FGVでの調査に取組んだチームのひとり、エリザ・アンドラーデ氏によると、ブラジルに対する投資への信頼性が低い状況に新型コロナウイルスのパンデミックが加わったことでGDPギャップが拡大したとい

FGVによると、潜在GDPは1982年から2020年にかけて、平均で0.6%成長してきた。一方、同じ期間に実質GDPは0.5%の成長だった。だがエリザ氏によると、四半期ごとに分析した場合、過去最悪を記録してきたのは2017年第1四半期の6.6%減だった。また2014年3月から2016年12月にかけて記録したブラジルのリセッションでも同様に、6%前後のギャップを生み出すこととなった。

新型コロナウイルスのパンデミックで、国内の民事再生申請数が3倍に拡大すると、経済省経済政策局 (SPE) が予想している。SPEの予想は、最も悲観的なシナリオを想定したもので、3513社が民事再生に入るという予想している。パンデミックが発生して以来、この分野は、民事再生申請数が3倍に拡大すると、経済省経済政策局 (SPE) が予想している。SPEの予想は、最も悲観的なシナリオを想定したもので、3513社が民事再生に入るという予想している。

SPEが悲観的な予測 民事再生申請は3倍に増加?

新型コロナウイルスのパンデミックで、国内の民事再生申請数が3倍に拡大すると、経済省経済政策局 (SPE) が予想している。SPEの予想は、最も悲観的なシナリオを想定したもので、3513社が民事再生に入るという予想している。パンデミックが発生して以来、この分野は、民事再生申請数が3倍に拡大すると、経済省経済政策局 (SPE) が予想している。SPEの予想は、最も悲観的なシナリオを想定したもので、3513社が民事再生に入るという予想している。

必要があるという主張を裏付ける。今回の調査によると、民事再生と破産の連続に時間がかかる場合、コロナが経済に与える影響が長引く可能性がある。さらに、これに関連して景気の回復を困難にする別の要因も指摘されている。それは、業績が悪化してそのままで事業の継続が見込めない企業で働く労働者の転職の妨げになるとい

それでも法改正が必要になると、SPEによると、13年が経過した後も破産プロセスが完了しないケースが全体の50%以上を占めるといふ。トランプブラジルのケースを例として、ハイテク資本をスクラップにしてしま

と発表したデータによると、民事再生プロセスを申請した、あるいは申請する企業は約50万社で、その99.2%が中小企業 (MPE) である。ブラジルを対象とした調査では、今後2年で廃業が増加すると予想されており、経営者の間に悲観的な見方が広がっているという。

映画館の営業再開の見通しは立っていないものの、業界では、営業を再開する場合の手続きや基準を取り組んでいる。業界では、すでに営業を再開しているスポーツジムやレストランなどの経済活動と同様に、安全性を、上映室内で確保していることに対する当局の理解を得る方針だ。

映画館の営業再開の見通しは立っていないものの、業界では、営業を再開する場合の手続きや基準を取り組んでいる。業界では、すでに営業を再開しているスポーツジムやレストランなどの経済活動と同様に、安全性を、上映室内で確保していることに対する当局の理解を得る方針だ。

抱えており、投資を惹きつけられない状態にある。これは資本の問題に影響を与える。事業を開始するために煩雑な官庁の手続きが必要となるなど、非常に高いブラジルのリスクに投資家の信頼感

映画部門の損失11億 業界は再開に向けアピールも

新型コロナウイルスのパンデミックに伴う社会的隔離の影響で、国内の映画館業界は、3月20日から7月中旬までに11億レアル、動員人数にして6400万人分が低い状況が組み合わさったものと指摘する。

現在のブラジルは、非常に深刻な構造的な問題を背負っている。パンデミックに伴う社会的隔離の影響で、国内の映画館業界は、3月20日から7月中旬までに11億レアル、動員人数にして6400万人分が低い状況が組み合わさったものと指摘する。

ベネチアに算出した。パロール紙が17日に実施したオンライン・インタビューで、Feneecのリアルド・デ・イジーニョ氏は、オーディエンスに達する収入を記録した。全国映画上映業者連合会 (Feneec) が、前年同期の観客動員数を

石油および石油派生品の消費が改善する兆候を見せているという。同社は引き続き、270万石油換算バレル/日という、2020年の年間生産目標を維持している。この目標が達成された場合、2020年の同社の原油生産量は、前年比2.5%

「マスク生産者に収入
バーレの基金協力により」
シビルサービス審議会、ブラジル・フランス商工会議所が参加している。

「英国がBHPを提訴へ
サマルコの鉱滓ダム事故関連で」
2015年にミナス・ジェライス州マリリアで発生した資源会社サマルコの鉱滓ダムの決壊事故に関連して、BHPに対してイギリスの司法により損害賠償を求めるとができるかどうか、イギリスの裁判所が7月15日に検討を始めた。

再生可能エネルギーに投資 低電圧電力の80%を直接発電

健全な環境とコストの削減、持続的経済を追求する形で、民間企業による集合型発電所の建設が加速的に増加している。様々な業種の企業が参入するこの市場で、電話キャリアも数年前から参入している。電話キャリアが投資を進めている

分野は、再生可能エネルギーを通じたエネルギーの効率化と分散型エネルギーへの投資だ。全国各地に発電所を設置して、それぞれの発電所は都市全体に電力を十分に供給できるだけの発電能力を持つ。

戦略は、自社の事務所やビル、アンテナ、電話通信機器や販売店などが消費する低電圧電力の80%を直接発電することだ。

テレフォニカ・ブラジルの支配会社を持つVivoの場合、この数値目標を掲げて3万5千拠点

サンパウロ州、マツト・グロソ州では10カ所の発電所が既に稼働している。この発電計画が完了すると、Vivoは年間67万MWhの発電能力を確保する見込み。これは、人口30万人以下の都市の電力需要を賅える規模だといふ。

現在の消費状況をベースに計算すると、同社の建設するプロジェクトを合わせると、2022年までに自社で消費する電力を100%、自家発電で賄えるだけの発電能力を確保する計画だ。

ルモがカラムルと提携
ゴイアスでのターミナル事業で

送を専門とするターミナルだ。ゴイアス州のロナルド・カイアド知事 (DEM・民主党) は21日、この2社の代表者からプロジェクトの詳細について説明を受けた。投資額は8千万レアルを見込む。

同知事によると、「積み替えを洗練させ効率的にする。その他の企業も同時に、ターミナルの能力を使って競争力のある物流コスト、サンタス港に到着する貨物の価格競争力の拡大という恩恵を受けることになる」とコメントした。

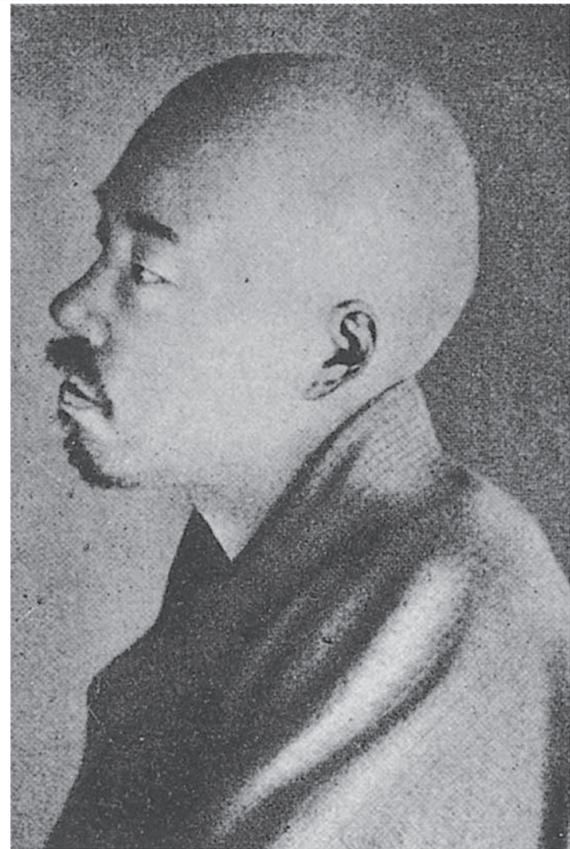


経済ニュース速報 & データベース
・ コピ&ペーストで報告書が作成可能な最新のビジネスニュースをいち早く入手したい
・ データベース化された情報を利用したい
・ 求めるニュースや話題を伝えてインタラクティブに情報入手・交換したい
効率的に連携させて 効果的な利用が可能です
そんな「したい」を、B-Side Solutionsがお手伝いいたします。
お問い合わせは、サイト運営会社の B-Side Solutions Ltda. へ。
Rua Apeninos, 665 1ºand. Sala3 Paraíso - São Paulo - SP Tel: (11) 3271-5680 http://b-side.brasilforum.com / b-side@brasilforum.com

B-side からのおしらせ
龍谷大学同窓会南米支部が発足
龍谷大学経済学部1期生 (昭和40年卒) でパラグアイ在住の島崎允也 (しまぎき・) 氏が発起人となり、さる6月10日、サンパウロ市内で、パラグアイとブラジルの龍谷大学OBにより龍谷大学同窓会南米支部が発会しました。
南米支部は当面、社会学部2期生 (平成5年卒) の美代賢志 (みよ・けんじ) 氏が世話人となり、調査・翻訳会社「B-side」の事務所を連絡先とします。OBリストへの登録を希望する方は kenji_miyohotmail.com までメールにてご連絡ください。

特別寄稿 文豪の闘病から生まれた傑作 正面から病と向き合う生き方

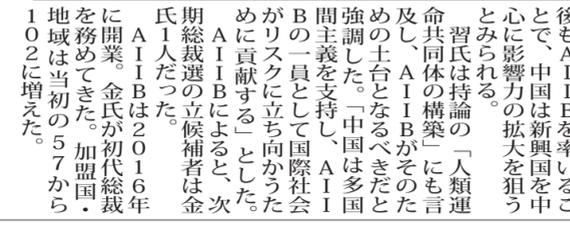
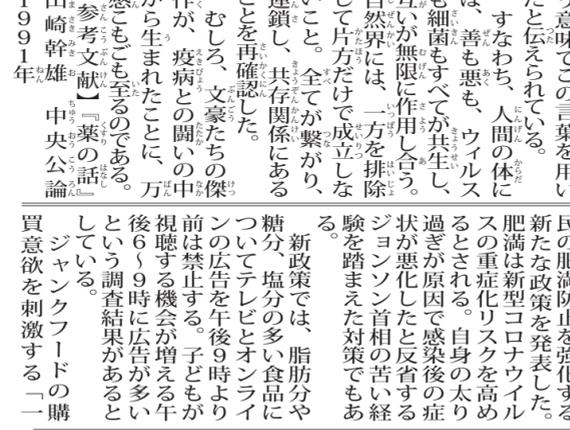
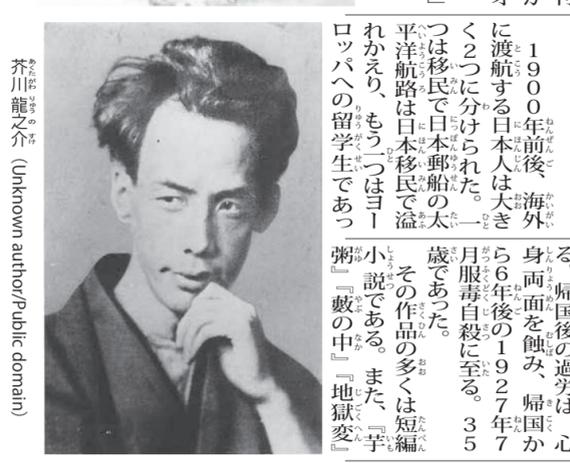
聖市ウィラカロン区在住 毛利律子



歌人の正岡子規 (Unknown author/Public domain)

コロナ禍で、互いの「繋がり」を切らないように助け合う知恵を交換するネットワークが急速に普及し、大きな助け合いとなっている。

「病床六尺」は、作者の自伝的な小説である。主人公は、病に苦しむ作家の姿を写している。



「病床六尺」は、作者の自伝的な小説である。主人公は、病に苦しむ作家の姿を写している。

布マスク8千枚配布へ 介護施設対象、厚労省

肥満防止強化 コロナ対策で 英ジャック食品広告規制

AIIB「新モデル」に 習氏、中国影響力拡大狙う

